

## 6. 検討結果

1日目には8グループ、2日目には7グループに分かれて話し合いを行い、テーマごとに各グループの意見をまとめて、発表してもらいました。

なお、テーマごとにグループメンバーを入れ替え、討議を行いました。

### ■検討テーマと担当グループ

※（高）=高校生

	テーマ	担当グループ
1日目 午後	(1) 人の健康 ①心身の健康について ②高齢者、障がい者などへの支援について ③子育て支援について ④学校教育について	①第1G、第2G（高） ②第3G、第4G ③第5G、第6G ④第7G、第8G（高）
2日目 午前	(2) まちの健康 ⑤安心安全を感じる生活について ⑥快適で利便性の高い街づくりについて ⑦環境への配慮やまちの緑化について	⑤第1G、第2G ⑥第3G、第4G ⑦第5G、第6G、第7G（高）
2日目 午後	(3) 社会の健康 ⑧豊かな心を育む生涯学習、文化活動について ⑨まちの活力や賑わいについて ⑩大和の魅力のPRについて	⑧第1G、第2G ⑨第3G、第4G ⑩第5G、第6G、第7G（高）

### ☆話し合いの様子☆



### ☆発表の様子☆



～討議の様子～

高校生については、高校生のみで討議グループを編成し、若者ならではの発想で意見を述べてもらうことにより、一般の方々のグループも良い刺激を受け、討議会全体が活性化されました。

**(1)人の健康 : テーマ①心身の健康について**

**1グループ**

**【強み】**

- (地域・自治会)
  - ・ お祭りが好き (なんか多い)
  - ・ 自治会で地域の人を守る活動をしている
  - ・ 自治会での踊りが活力になっている
  - ・ 若手が多い
  - ・ 自治会、運動会がさかん
  - ・ 特に中央林間周辺
  - ・ 年輩のサポートがあるから
- (環境施設)
  - ・ 南部は緑・公園が多い
  - ・ 緑が多いので、空気が良い
  - ・ 県央なので、都市部の大病院へのアクセスがよい
  - ・ 公園が多いので、ラジオ体操がしやすい
  - ・ 地域のコミュニティセンター等で体操クラブに参加者が多い
- (検診)
  - ・ 検診により早期発見につながる
  - ・ 年1回の健康診断があること。早期発見に繋がる
  - ・ 個人個人が健康に対しての取り組みや努力をしている
  - ・ 無料クーポンなど、市の健康診断を勧めてくれて、検診に行く人も増えている
- (緊急医療体制)
  - ・ 徳州会病院に入院したとき、退院後に電話があり、様子を心配していただきました
  - ・ 救急車が早く来た
  - ・ 市民討議会のこの機会を企画したことが、大和市の強みになる大きな活力になると思う

**【弱み】**

- (地域 自治会)
  - ・ ころころサポーターの権限がない
  - ・ 民生委員・児童委員の負担が大きい
  - ・ 高齢者の一人住まいの把握は？
  - ・ 高齢者の自治会離れが多くなってきている
  - ・ 大和市は高齢者に対して、長寿への恩恵が少ない？
- (環境施設)
  - ・ 林の中にゴミが多く汚い
  - ・ 不法投棄が多い
  - ・ 北部にはスポーツをするところが、少ない
  - ・ 文化施設が少ない
  - ・ 電柱が多く、交通に不便で危険
- (検診)
  - ・ のろっとバスの停留所を増やしてほしい
  - ・ 高齢者が病院へ受診する足がない
  - ・ 高齢者の健康診断を受けるのが減少している
  - ・ 検診通知は来るが、受診率が低い
- (緊急医療体制)
  - ・ 市立病院の救急医療の対応が不明確
  - ・ 夜間救急が心配
  - ・ 狭い道が多いので、救急車が入りづらい場所が多い
  - ・ 病院についてからが、長くて不安
  - ・ 道路が渋滞しやすく、救急車がスムーズに走れない
  - ・ 病院間の連携はどうなっているのか
  - ・ 夜間対応 外科、小児科、内科、産科
  - ・ 救急医療情報キットの存在を知らなかった



## 【課題】

## (救急医療体制)

- ・ 救急体制の不備を感じる
- ・ 市民病院の医者を増やす
- ・ 市立病院が、全科ではないが、多くの課が救急対応出来るようになる
- ・ 高齢者用に、病院受診時、送迎車を出してほしい

## (活動に対する楽しみを作る)

- ・ 行きたくなる検診をめざす
- ・ 検診の結果が怖いと思うと受けにくい
- ・ 広報の拡充。こころサポーター、救急医療情報キットなど
- ・ 健康診断受診者には、5年、10年証明書を渡す

## (自治会・地域)

- ・ 民生委員・児童相談員の増員
- ・ 耳が不自由な人たちも安心して参加できる場所
- ・ 話し合いの仕方の工夫が必要
- ・ 子育ての悩み、介護のつらさと弱者に対してのコミュニティの絆を具体的に
- ・ 多くの住民が自治会へ入会できるよう、市からサポート（援助）が必要
- ・ 自治会活動に対する行政（市）のサポート
- ・ 市の単位での、それぞれの世代へのつながるサークル的なことや、老若男女が集い合うイベントなどを企画によって増やしていく
- ・ 自治会での高齢者の（独居）見守り
- ・ 大人同士も、大人が子どもたちに知られていなくても、声をかけ合える町づくりを！

## (環境・まちづくり)

- ・ 粗大ごみも週で回収してほしい
- ・ 電柱を地下に埋める
- ・ 緑がもっと増える。子どもたちが外で遊べるスペース。公園の遊具をもっと増やして
- ・ サイクリングロードや、スケートボードなどが出来るようなスペース



## 大和市の主要課題

1. 緊急医療体制の向上
2. 検診への参加
3. 地域の活性化や環境の美化

## 主要課題への対応方針・解決

1. 医師の増員、夜間対応の拡充
2. ・楽しみをもって参加できるように！  
・送迎支援
3. ・緑の増加とごみの減量化  
・皆が参加しやすい自治会に！

6. 検討結果-(1)人の健康-①心身の健康について-1グループ

作業シート (写真)

討議テーマ  
**心身の健康について**

グループ  
**1**

【強み】  
お祭り  
自給自足  
自給自足  
年配者の  
活動が  
多いから

【弱み】  
民生委員  
児童委員  
負担が大きい

自給自足  
地域に  
根付いた  
活動が多い

特に  
林間  
の  
環境

不法投棄  
が多い

文化施設  
が少ない

検査  
早期発見

救急車  
早く来た

自給自足  
地域

環境  
づくり

大和市の地域工要課題  
① 救急医療体制の向上  
② 検診への参加  
③ 地域・環境活性化

題への対応方針・解決策  
医師・職員 夜間対応の充実  
受け皿を持って参加(3333) 送迎支援  
緑の増加とゴミの減量化  
皆が参加(ヤリ)自治会に

討議内容の発表
---------

## 【強み】

- ・ 強みとして、地域・自治会ではお祭りがすき、自治会の地区を守る活動が良くされている、若手が増えている、運動会を良くやっている、盆踊りなど活力のある活動がされている。
- ・ 環境施設では、南部は緑・公園が多い。緑が多いので、空気が良い。県央なので、都市部の大病院へのアクセスがいい。公園が多いので、ラジオ体操がしやすい。地域のコミュニティセンター等で体操クラブに参加者が多い。
- ・ 検診により早期発見につながる。年1回の健康診断があること。個人個人が健康に対しての取り組みや努力をしている。
- ・ 無料クーポンなど、市の健康診断を勧めてくれて、検診に行く人も増えている。
- ・ 緊急医療体制では、徳州会病院に入院したとき、退院後に電話があり、様子を心配して下さった。救急車が早く来た。市民討議会という、この企画をしたことが大和市の強みになる、大きな活力になると思う。などが挙げられた。

## 【弱み】

- ・ 弱みとして、地域、自治会では、こころサポーターの権限がないので、サポーターと名前はあっても機能していない。民生委員・児童委員の負担が大きい。高齢者の一人住まいの把握ができていない。高齢者の自治会離れが多くなってきている。
- ・ 林の中にゴミが多く汚い。
- ・ 緊急医療体制では、医療体制の不備が挙げられた。

## 【課題・解決策】

- ・ 課題としては、活動において楽しみをつくることで、検診の受診者を増やす工夫、地域の自治会では、いろんな年代の人達が話し合うことが出来るよう考えることが必要。また環境では、まちづくりや粗大ゴミの対応、電柱などが多いため、美観を損ねるということが挙げられた。
- ・ こういった対応を考えていくことで、心身の健康にも繋がっていくのではないかと考える。



**(1)人の健康 : テーマ①心身の健康について**

**2グループ★高校生**

【強み】	【弱み】
<p>(メンタルサービス)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 休日、夜間診療などの取り組みによって、市民に安心感を与えることができる</li> <li>・ SC (スクールカウンセラー) さんが頼りになる!</li> <li>・ 相談所がある (気軽に相談できる)</li> </ul> <p>(健康意識)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自ら健康づくりに取り組んでいる市民が増えている</li> <li>・ 川沿いを走っている人をよく見かける</li> <li>・ 老人でも健康に良く取り組んでいる (取り組みやすい環境が出来ている)</li> </ul> <p>(施設の充実)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院がたくさんある</li> <li>・ 市民の健康のための、サービスが整っている</li> <li>・ 福祉施設が充実している</li> </ul> <p>(交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の人との交流ができている</li> <li>・ 知らない人でも、関わりが多い (交流が多い)、助け合いができる</li> </ul> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自殺者が減っている</li> </ul>	<p>(情報提供)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大和市を良く知らない人が、病院の位置が分からない</li> <li>・ 救急医療情報キットを配布していることを知られていない</li> <li>・ ころろサポーターがあまり知られていない</li> <li>・ 様々なサービスに取り組んでいるわりに、市民への認知度が低い</li> <li>・ 各種サポートの詳細が分からなく、サポートを望んでいる人たちが申し込みにくいのではないか</li> </ul> <p>(病気に関する意識)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 22年度から23年度にかけて、急激にストレスやメンタルヘルスに関する相談が多くなっている</li> <li>・ 高齢者のインフルエンザ予防接種受診率が減っている</li> <li>・ 乳ガンや子宮ガンの検診を受ける人が少ない (減ってきている)</li> <li>・ ガンに対する意識が高まってきているのに、医師が不足している</li> <li>・ 若い世代の健康づくりに取り組んでいる人が少ない</li> <li>・ 20代、30代の健康づくりの取り組みが、あまりできていない</li> </ul> <p>(環境について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事故が多い</li> <li>・ 市立病院利用者が2006年以降、少なくなっている</li> <li>・ 学校にクーラーがなく、学べる環境が整っていない (授業に集中できない)</li> </ul>



## 【課題】

(きもち)

- ・ 他人を思いやる

(学校の環境)

- ・ 学校にクーラーをつけて下さい

(人との交流)

- ・ 福祉施設との交流
- ・ 交流の場を増やす（お互いの健康を確認し合う）
- ・ 市民が参加しやすいような、イベントなどを増やす
- ・ 気軽にできる健康づくりを広める

(環境)

- ・ SCさんだけでなく、先生にも気軽に相談できるような環境に！
- ・ 病気の相談について、相談しやすい環境を作る
- ・ 健康づくりのしやすい環境をつくる

(宣伝)

- ・ サービスについて、もっと宣伝する
- ・ 病院でのサービスをもっと大々的に
- ・ 様々なサポートをより認知されるよう、宣伝する
- ・ 各医療サービスを知ってもらうために、チラシ等を投函する
- ・ いろんな病気の恐ろしさを知る



## 大和市の主要課題

1. 医療サービスの宣伝
2. 病気について相談しやすい環境づくり
3. 人との交流（声かけ）

## 主要課題への対応方針・解決

1. 掲示板、回覧板、チラシの配布
2. ・ 他人との壁をなくし、親近感の醸成
3. ・ 参加しやすいイベントづくり  
・ 交流の場を増やす

作業シート (写真)

討議テーマ

# 心身の健康について

グループ 2

**健康意識**

**メンタル(サービス)**

**施設の充実**

**【弱み】**

**情報提供**

**病気に附する意識**

**環境に学ぶ**

**交流**

**【課題】**

**きもち**

**人との交流**

**環境**

**学校環境**

**宣伝**

大和市が抱える主要課題	主要課題への対応方針・解決策
① 医療サービスの宣伝	掲示板、回覧板、チラシの配布
② 病気に付いて相談しやすい環境作り	他人との不壁をなくし、親近感の醸成
③ 人との交流	参加しやすいイベント作り 交流の場を増やす

討議内容の発表
---------

## 【強み】

- ・ 強みとして、メンタルサービスとしては、休日、夜間診療などの取り組みによって、市民に安心感を与えることができるなど、メンタルサービスが充実している。また、自ら健康づくりに取り組んでいる市民が増えており、市民の健康意識が高まっていることも良いことだと思った。
- ・ 病院がたくさんあり、市民の健康のための、サービスが整っている。さらに福祉施設が充実していること、地域の人との交流も盛んであることも良いことだと思った。

## 【弱み】

- ・ 弱みとしては、大和市を良く知らない人が、病院の位置が分からない、様々なサービスに取り組んでいるわりに、市民への認知度が低いなど、情報提供があまり出来ていないところである。また、乳ガンや子宮ガンの検診を受ける人が少ない、病気に関する意識が低いことが問題だと思った。

## 【課題・解決策】

- ・ 課題としては、人との交流、環境、宣伝と3つが挙げられた。
- ・ 人との交流としては、お互いの健康を確認し合うために、交流できる場所をつくる、市民が参加しやすいイベントを増やすといったことである。
- ・ 環境は、病気の相談をしやすい、健康づくりをしやすい環境をつくるということが挙げられた。
- ・ 宣伝は、大和市は様々なサポートをしているわりに、認知度が低いので、それらを知ってもらう、また、病気の恐ろしさを知ってもらうことが必要であると考えた。
- ・ 行政に期待することが多いが、自分が出来ることをまずは考えた場合、他人を思いやることを考えた。一番簡単に出来ることから始めることが大事だと考えた。
- ・ 大和市が抱える主要課題として、医療サービスの宣伝がある。医療サービスがあまり知られていないため、宣伝を増やした方がよい。そのために、掲示板や回覧板で知らせる、チラシの配布等が考えられる。
- ・ 病気について相談しやすい環境づくりとしては、他人との壁をなくし親近感を醸成するということを考えた。
- ・ 人との交流を行うことで、お互いの健康を確認し合うことが出来ると考えた。そのために、参加しやすいイベントづくりや交流の場を増やすということ考えた。



**(1)人の健康 : テーマ②高齢者、障がい者などへの支援について**

**3グループ**

【強み】	【弱み】
<p>(施設：多)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障がい者の施設が充実している</li> <li>・ 若い人が多い</li> <li>・ 介護施設の数が多い</li> <li>・ 市の各地域に施設有り</li> <li>・ (知っている範囲の) 高齢者の職員が、まじめに取り組んでおられる</li> <li>・ 医療等の施設の立地</li> </ul> <p>(シルバー人材センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ シルバー人材の豊富さ</li> <li>・ シルバー人材センターの仕事がある</li> </ul> <p>(快適性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安心して散歩できる緑地</li> <li>・ 緑・自然が多くある</li> <li>・ 坂道が少なく、移動しやすい</li> <li>・ 市民参加のイベントの数</li> <li>・ 市民活動への支援制度</li> </ul>	<p>(施設：少)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護施設が少ない</li> <li>・ 介護施設の老朽化</li> <li>・ 各種施設のPR 不足</li> <li>・ 航空機の音、うるさい</li> <li>・ 大きな病院への交通の便が悪い</li> <li>・ 市立病院の待ち時間が長い</li> <li>・ 市の窓口の利用のしにくさ</li> <li>・ 消防署の数が少ない</li> <li>・ 耐震制度を充実させる</li> <li>・ 交通事故が多い</li> </ul> <p>(ネットワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若い人が高齢福祉を知らない(私も！)</li> <li>・ 若い人、外国の方々とどのように絆を結んでいく場があるのか、よくわからない</li> <li>・ 地域支援のつながりをどう見つけるか</li> <li>・ 未来の生活設計が立てられない</li> </ul> <p>(高齢者福祉サービス)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢人口の割合高</li> <li>・ 高齢者優遇サービス</li> <li>・ 家族介護をしている人の、経済状態および生きがい</li> </ul>



【課題】

- ・ 緑の保全
- ・ 環境保全
- ・ 自然豊かな暮らしやすい街づくり
- ・ 助け合いの地域ネットワークづくり
- ・ 若い人も参加しやすい、高齢者・障がい者への支え合い
- ・ 高齢者のひとり暮らし問題
- ・ 災害への対応
- ・ 公共（市営）の施設を高齢者視線で見直す（75歳前後の意見を聞く）
- ・ 利用しやすい施設づくり（公共）
- ・ 公共サービスの充実
- ・ 皆にやさしい街づくり
- ・ 高齢化を想定したサービスづくり
- ・ 高齢者向けサービスの充実
- ・ イベントPRの充実
- ・ まちの中にイスが少ない



独自の検討視点：誰もが安心して暮らし続けられる街・大和市

大和市の主要課題

1. 誰もが暮らしやすい環境づくり（高齢者・障がい者・おなかの大きなお母さんなど）
2. 助けあいの地域づくり
3. 弱い立場の方の視点に立ったサービスづくり

主要課題への対応方針・解決

1. ・緑の保全・活用  
・施設の利便性の向上
2. ・ネットワークづくり  
・ネットワークの周知  
・自治会活動の活発化
3. 弱い立場の方に配慮できるように職員等の質を向上する



### 討議内容の発表

#### 【強み・弱み】

- ・ 強み・弱みとして意見をランダムに出した結果、老人の施設が多いという意見もあれば、少ないという意見もあった。その理由を考えたところ、大和市のPRが少ない、どこに何がある、ということを知らないのではないかと、といったことが考えられた。
- ・ また弱みの一つとして、ネットワークについて様々な意見が出てきた。このネットワークについては、若い人や外国人も含めて、絆となる場所がないのではないかと結論に至った。ネットワークがないのではなく、ネットワークとなる場所がないという意見が出ていた。これについても、なんらかの手を打つべきだと考えた。
- ・ 高齢者に対する福祉サービスが他市に比べて少ないのではないかと、といった意見が出た。これは知らないだけかも知れない。
- ・ 大和市独特なものとして、飛行機の騒音が挙げられた。騒音問題は高齢者にとって問題と考えた。
- ・ 強みとしては、あまり出てこなかった。まちに坂が少ない。また、安心して暮らせるまちでもある。

#### 【課題・解決策】

- ・ 課題としては、緑の保全とネットワークが挙げられた。この結果、誰もが暮らしやすいまちが挙げられた。これは、障がい者や妊婦も含めてオモテに出て出来ないことはないか、そういった施設をつくることは出来ないか、といったことが挙げられた。
- ・ また、助け合いの地域づくりとして、助け合いのネットワークが広報活動で出来ないかということが挙げられた。
- ・ 弱い方の視点に立ったサービス。弱い方もこの場に参加しても良いのではないかと考える。
- ・ また緑の保全や施設の便利性の向上を図ってほしい。町の中に椅子があっても良いと思う。
- ・ ネットワークづくり、ネットワークの周知、自ら自治会活動を行う、といったことも挙げられた。
- ・ また弱い立場の方に配慮できるよう、職員の質の向上も図っていただきたい。先導を取るのは市役所になると思われるので、検討をしていただきたい。



**(1)人の健康 : テーマ②高齢者、障がい者などへの支援について**

**4グループ**

**【強み】**

- ・ 市の福祉活動の「広報活動」は積極的と思う
- ・ 高齢者が地域の活動に参加している
- ・ 自治会活動が私の地区では、活発と思う（生きがい）
- ・ 近隣住民の付き合いがある
- ・ 町おこしへの取組も積極的（幕末住宅の再建）と思う
- ・ 高齢者が元気
- ・ 平均よりは高齢化が進んでいない
- ・ 運動施設やコミュニティバスなど、施設やインフラがどんどん良くなっている
- ・ 公共交通機関が整備されている（電車など）
- ・ パトロール巡回、救急車がすぐ来てくれる
- ・ 自然が多い。災害が少ない

**【弱み】**

- ・ 高齢者の活動が、高齢者のみになっている（世代間交流が少ない）
- ・ 地域への参加に年代差がある
- ・ 施設が少ない
- ・ 古い公共施設が多く、バリアフリーが進んでいない
- ・ 地域によって、狭い道路があり、介護用の車が通りにくい
- ・ 職場が市外だと、市や地域の活動に参加しなくなる
- ・ 市外に働きに出る若者が多い（家族の介護しにくい）
- ・ 高齢者の介護、民生委員の不足
- ・ 人口増加に比べて高齢者の予算が低いように感じる
- ・ 能動的に情報収集をしないと、サービスを受けられない
- ・ 自治体の活動に参加しきれない高齢者もいる（組長できない）
- ・ 高齢者の介護、情報不足（行政）
- ・ 制度が分かりにくい（ひとり暮らしの老人は、自分で申請できるのか）
- ・ 施設で受けられるサービスが分からない
- ・ 老人クラブへの参加者が少ない理由は、魅力が少ないから
- ・ 老人というくくりでの扱いに拒否感がある（年齢を超えたコミュニティがない）
- ・ 看護など、問題に直面しないと知らないことが多い（行政活動の認知度が低い）



【課題】

- ・ 市は広報活動を行っているが、市民に伝わっていない  
　　<上記原因> 受け手側にやさしい情報提供をしていない
- ・ 情報は自治会に入っていないと入手できない
- ・ 具体的に何か起こったときに、どの窓口に行けばいいかわからない



大和市の主要課題

1. 福祉情報の具体的な入手
2. 高齢者の生きがい活動の活発化
3. 民生委員、介護施設の不足

主要課題への対応方針・解決

1. ・ 相談窓口の一本化  
　　・ (自治会に頼らない) 情報提供の多様化
2. ・ 若い世代の自治会入会を促進  
　　・ 生きがい施設の増設 (図書館)  
　　・ 老人クラブの名称変更
3. 不足補充のための予算化



## 討議内容の発表

## 【課題・解決策】

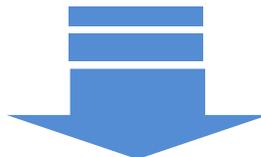
- ・ 結論として挙げられた一つ目として、福祉情報の具体的入手方法が見えないということである。両親や身内が認知症や障がい者になった場合、誰に相談して良いのか分からない。事業計画や広報についても、情報としてあるが、どこで相談して良いのか分からない、といったことが挙げられた。
- ・ そのため、相談窓口の一本化といった意見が挙げられた。
- ・ 市の方は代表にかければ、と思うかも知れないが、総合窓口は細かい相談はしにくい。専門家に相談できる窓口ができないか、といった意見が挙げられた。また、毎月の広報が自治会経由で配布されているが、自治会の加入率は74%となっている。中央林間地区は58%に減っている。それ以外の方は情報過疎になる。コンビニにも設置しているが、情報提供の多様化を検討する必要があるのではないか。
- ・ 二つ目は、高齢者の生きがい活動の活発化が挙げられた。具体的には、若い世代の自治会活動の参加への促進、生きがい施設の増設が挙げられる。大和市は図書館や音楽ホールなどが無い。図書館等の施設が不備であると考えている。また老人クラブという言い方は、差別的であると感じる。
- ・ 三つ目は民生委員や介護施設が不足していると感じる。ある地域では、民生委員の23名に対し、要介護者は650名ほどいる。何かの時に対応しきれない人数ではない、と考える。これらの予算化をしてもらい、対応をもらいたい。



**(1)人の健康 : テーマ③子育て支援について**

**5グループ**

【強み】	【弱み】
<p>(活躍の場、施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コミュニティセンターはいい場所</li> <li>・ 色々な施設が近い、診療時間外でも診てくれる医療機関がある</li> <li>・ 整備された子どもの遊び場が増えた</li> <li>・ 24時間育児、健康相談等、相談できるルートがある</li> </ul> <p>(市民活動交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民活動がさかん</li> <li>・ 地域の交流が多い</li> <li>・ お祭り等で人が集まる日が多い。交流</li> <li>・ 昔と変わらない(全部ひっくるめて)</li> </ul> <p>(コミュニティ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近所の顔が見える</li> <li>・ 廻りの方が子育てを見守ってくれる(おせっかいすぎない)</li> <li>・ 地域の方が子どもを見てくれる(しつけ etc)、シルバー世代の方が元気である</li> </ul> <p>(緑、環境)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緑が多い</li> <li>・ まだまだ自然が多い</li> </ul> <p>(人口維持、活性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもたちが子どもらしい</li> <li>・ 比較的若い世帯が多い</li> <li>・ 開発地区期待!!</li> <li>・ ずっと住んでいる人からの評判は良い(住みやすい etc)</li> </ul>	<p>(保育の質と量)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育園が少ない</li> <li>・ 待機児童数が減らない</li> <li>・ 預けて働く理由が理解されていない</li> <li>・ 子どもを遊ばせる施設が少ない(交通手段がない)</li> <li>・ 一時的に預かってもらえる施設がない(知らない)</li> </ul> <p>(情報共有)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援策のアピール力が足りない</li> <li>・ 知られていないことが多い(事業や活動)</li> <li>・ 知らない市民も悪い</li> <li>・ 細長い市なので、知らない地域が多い</li> <li>・ 他市の良いところを取り入れない</li> <li>・ 色々な活動があるのに、情報が届いてない</li> <li>・ 放置地帯がある(汚い)</li> <li>・ 他市から移ってきた人からの、評判が悪い</li> <li>・ ボランティアが少ない!!</li> <li>・ ボランティア活動のやり方を推奨されているか、わかりづらい</li> </ul> <p>(治安)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 治安が悪い</li> </ul> <p>(コミュニティ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 良い意味でのお節介者がいない</li> </ul> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 縦割りすぎる、コミセン利用</li> <li>・ 学校は少人数指導が本当にできているのか</li> <li>・ 予防接種の負担が大きい。医療費が高い</li> <li>・ 大和への愛着がやすい</li> <li>・ 職員が少ない(一人に割り当てられる仕事が多い)</li> <li>・ 迷子の(探し人)放送が聞き取りづらい</li> </ul>



## 【課題】

- ・ 保育園とボランティアの連携
- ・ 待機シルバーの活用
  - ↓
- ・ 子どもを預けたい親のニーズに対応できない保育施設
  - ↓
- ・ 必要な施設やサービスは整っているが、市民が利用できない（市→サービス提供の仕方、市民→自ら知る方法）
  - ↓
- ・ 自然は多いが、ただ残っているだけ。きちんと整備して残すべき！！
  - ↓
- ・ 開発されている地区なので、人が集まる。人口維持！！



## 大和市の主要課題

1. 子どもを預けたい親のニーズに対応できない保育施設及び家庭の事情を把握できていない行政とのギャップ
2. 必要な施設やサービスは整っているが市民が利用できていない
3. 自然は多く、公園もたくさんあるが、ただあるだけで整備されてない場所が多い。安心して子どもを遊ばせられない

## 主要課題への対応方針・解決

1. ・ 保育施設及び行政とボランティアとの連携をとる  
 ・ 待機シルバーを活用して、育児をお手伝いしてもらえる環境づくりをする
2. サービス提供の方法を工夫する。見やすい、読みたいと思う広報誌づくりや、若い世代向けにサイトやツイッターなどを利用。※市民側も情報を得ようとする意識を持つ。
3. 新しい場所を開発するだけでなく、昔から残る公園や広場を見直し、整備する

作業シート (写真)

討議テーマ **子育て支援について**

グループ **5**

**活動の場**

- コミセン 12ヶ所
- 地域の活性化
- 高齢者の交流
- 子育て世代の交流

**市民活動**

- 市民活動 市民
- 地域の活性化
- 子育て世代の交流

**子育て**

- 子育て支援
- 子育て世代の交流
- 子育て世代の交流

**環境**

- 子育て支援
- 子育て世代の交流
- 子育て世代の交流

**保育の質**

- 保育の質
- 保育の質
- 保育の質

**情報共有**

- 情報共有
- 情報共有
- 情報共有

**その他**

- 子育て支援
- 子育て世代の交流
- 子育て世代の交流

大和市が抱える主要課題	主要課題への対応方針・解決策
<p>① 子育てを預けた親のニーズに対応できない保育施設及び家庭の事情を把握できない行政との連携</p> <p>② 必要な施設やサービスは整っているが市民が利用できていない</p>	<p>・保育施設及び行政とボランティアとの連携をとる</p> <p>・「機シルバ」を活用して育児をお手伝いしてもらう環境を作る</p> <p>・サービス提供の方法を工夫する。見やみ、言やみなど、声かけや作りかき世代向けにサイトやインターネットなどを利用。※市役所も情報発信を向上させる意識を持つ</p>
<p>③ 自然は別公園もたくさんあるがただ整備されてない場所が9割に達していることを伝える必要がある</p>	<p>・車止り場所を開発するだけでなく、昔ながらの公園が広場を見直し、整備する</p>

討議内容の発表
---------

## 【強み】

- ・ 強みとしては、ハード面として活動の場の施設が多い。コミュニティセンターや公園が多く、他の市よりも多いと感じている。都心にもアクセスが良く、それに対して緑が多い地域であると感じる。ソフト面では、地域の活動や祭りなど市民同士が集まる場が多い。

## 【弱み】

- ・ 弱みとしては、保育の質と量で、保育所はあるが少ないと感じる。行政からは、ニーズが多く追いついていないといった説明があった。また情報共有についても、広報や冊子などでPRはしていると説明があったが、実際に市民に伝わりきっていない現状がある。一時保育や預かり保育もあるが、それが知られていないことが問題であるという意見があがった。また、治安の悪さなどが挙げられた。

## 【課題・解決策】

- ・ 最重要課題としては、預けたい親のニーズに対応する、といったことが挙げられる。子どもも高校生くらいに成長すれば、大和市は住みやすくなるが、生まれてから小学生までは育てにくい環境があるという意見があった。
- ・ 解決方法として、行政とボランティアが提携するといったことがある。ボランティアは現役を退いた方々が多く、経験が豊富である。また時間もたくさんある。この状況を利用しない手はないと思う。このメリットを弱みの部分に補完するといった対策が挙げられた。
- ・ またアピールの仕方として、子育てをする人達は20～30代であり、ネットに詳しい世代でもある。広報誌を配布しても見ることは難しい。使い慣れているインターフェイスを用意し、ネットを媒介とした宣伝活動を行うと良いのではないかと考える。
- ・ 最後に自然が多く公園もあるが、整備されていない場所が多い。遊ぶ場所があまり無いので、そういったところを整備する。遊ぶ環境や保育の基盤を整備すれば、両親は働きやすくなり、働けるということは、市の財政も増えることになるので、相乗効果として有効であると考えます。



(1)人の健康 : テーマ③子育て支援について

6グループ

【強み】

- (遊び場は多い)
- ・ 自然が残っている
- ・ 公園が多い
- ・ 公園がある(地域の中に)
- ・ 公園施設(大規模)が多い
- ・ 遊ばせる場所が多い
- ・ 子育て支援、交流の場がけっこう多い
- (幼稚園)
- ・ 幼稚園の数が多い
- ・ 幼稚園が多い
- (親切な高齢者)
- ・ 同世代が多い
- ・ 高齢者が多い
- ・ 地域の人やさしくて、声かけしてくれた

【弱み】

- (でも足りない公園・幼稚園・保育園)
- ・ 公園に遊具が少ない
- ・ 遊具の管理ができていない
- ・ 事故の度に遊具が減る(ツリーガーデンなど)。ケガも大事
- ・ 人口密度が高い
- (ヘルプ・困ったときに)
- ・ 一時預かりをしてくれる市の保育園が少ない。あっても高い
- ・ 緊急時に預けられる場所がない
- ・ 夜間の相談窓口がない
- (子育て環境)
- ・ パチンコ屋が多い
- ・ ゲームセンターが多い
- ・ 騒音(飛行機)
- ・ 交通量が多い
- ・ 住宅街にはいると、夜は真っ暗すぎてこわい(街灯が少ない)
- ・ 交通量が多い
- ・ 歩道が少ない
- ・ 幼稚園近隣の道路状況(大型車の通行など)
- ・ 予防接種の種類が増えているのに、補助金がないのが多い



## 【課題】

<p>(自然・公園を活かす)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼い子どもが遊べる</li> <li>・ 自然教室を増やす</li> <li>・ 公園などでの出前子育て相談、遊びのイベント等</li> </ul> <p>(子育てを助けてくれる仕組み(自分たちで))</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育てに協力してくれる地域の人を増やす</li> <li>・ 年寄りとの交流をする</li> <li>・ 高齢者の有効活用をする</li> <li>・ 共助組織を進める</li> <li>・ 子育て支援員(訪問してくれる)</li> <li>・ 親世代の人との交流、機会を増やす</li> <li>・ 子どもの見守りを地域でする体制がほしい</li> </ul> <p>(子育てを助けてくれる仕組み(公助))</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育ママ制度を作る</li> <li>・ 総合窓口(ワンストップ)が必要</li> <li>・ 子育て支援センター設置。窓口、ネットワーク、ハード、ソフトの充実</li> <li>・ 子どもの一時預かり、緊急時の預かりの場を増やす。案内を分かりやすくする</li> <li>・ 緊急保育の対応施設を増やす</li> </ul>	<p>(情報が届いていない)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育て支援メール(未就学世帯にも)</li> <li>・ 情報不足→あっても知られていない</li> <li>・ 子育て関連の情報を得やすくする。市HPの改善等</li> <li>・ 学区内はあるが、子育て向け危険箇所マップ等の作成</li> </ul> <p>(まちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住宅地の交通規制を厳しくする</li> <li>・ ミラーの数を増やす</li> <li>・ 街灯の電球を明るくするか、LED化する</li> <li>・ 都市整備を進める</li> </ul> <p>(お金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育てにかかるお金(世帯)と手当や助成の仕組みがマッチしていない</li> <li>・ 子ども手当を個人に配らず、市が一括管理して予防接種の無料化をすすめる</li> <li>・ 予防接種の補助を増やす</li> </ul> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小児救急を増やす</li> <li>・ 保育園を増やす</li> <li>・ 地域の実態が分からない</li> <li>・ 地域の協力を得るには？</li> </ul>
---	--



独自の検討視点：若い親が安心して子育てできる街

### 大和市の主要課題

1. 地域で子育てを助ける仕組み
2. 世代を超えたコミュニケーションの機会づくり
3. 子育てにはお金が必要!!

### 主要課題への対応方針・解決

1. ・子どもあずかり隊をつくる(親世代・高齢者)  
・メールでの情報提供(検診時に登録をすすめる)
2. 自然教室での多世代間コミュニケーション(きっかけづくり)
3. 予防接種の助成金を増やす



討議内容の発表
---------

## 【強み】

- ・ 若い親が安心して子育てできる街について、話し合った。将来を担う子ども達をどう育ていくかということで、強みとしては自然・緑地がある、保育園がある、交流の場があるといったことが挙げられた。

## 【弱み】

- ・ 弱みについては、公園の遊具が少ない、危険性がある取り外しされた公園を含めて、飛行機の騒音やパチンコ店、交通量の多さなどが挙げられる。また、困ったこととして、緊急に熱が出たりした場合、相談する窓口がないといったことが挙げられた。

## 【課題・解決策】

- ・ 課題としては、公園が活かされていない。協力し合う地域の人を育てていく。子どもはお金をかけるのではなく、地域の知恵と力で見守り、育てていき、未来を担う子どもたちを大和市全体で育てていくというスタンスが必要であり、その声を様々な媒体を使って発信していくことが必要である。大和市は子育てに力を入れていると市民が誇れる環境を育てていくことが、必要である。地域で子育てを助ける仕組みをつくるのが大切である。
- ・ 世代を越えたコミュニケーションづくりが必要。高齢者は経験が豊富で知恵があるため、新米ママにアドバイスをする、またそれを活かすことが財産であるとする。
- ・ 小学校に入るまではお金が必要になるため、そういったものも考えていかないといけない。
- ・ 子どもを地域で見守っていくということで、預かることにし組織化し地域で運営していくことが必要であり、そういったことを行ってはどうか。また、メールで情報提供をしていくことも必要と考える。検診等の案内を市からメールを通して発信する。また自然教育のコミュニケーションについては、これから高齢化社会となるので、子どもたちを見守って、子どもたちとコミュニケーションをもって、勉強を行う、といった場所をどのようにつくっていくかということが、市としてもポイントになるのではないかと。次に予防接種の助成金を増やすということで、3歳児までは無料とすることを、まち全体で考えていかないといけない。子どもたちにこれだけお金をかけている＝希望としている、ということで市民と市とがお互いに意欲も沸き、相乗効果をあげることが大事である。
- ・ 未来の宝＝子どもをどう考えていくかは、大和市民全体が考えていかないといけないことである。



**(1)人の健康 : テーマ④学校教育について**

**7グループ**

【強み】	【弱み】
<p>(挨拶)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ あいさつ、声かけ運動</li> <li>・ 声かけ、あいさつ運動</li> <li>・ 元気なあいさつ</li> <li>・ ごみ捨てをしている人とも、あいさつをしている</li> <li>・ ふれあい広場</li> </ul> <p>(スポーツ教育)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツ</li> <li>・ 有名スポーツ選手等が多く、子どもたちのスポーツに対する感覚が良くなるものと思われる</li> </ul> <p>(輪ができる)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一日が元気に始まる</li> <li>・ 孤独になりにくいのでは？</li> <li>・ コミュニケーションにつながる。多くなる</li> <li>・ 知らない人だけ「ホッ」とする</li> <li>・ いじめ：思いとどまる。くい止める</li> </ul>	<p>(スポーツ教育)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもたちのスポーツの場所が少ない。特に、サッカーをやろうとする子どもが多いが、公園や広場等は芝生になっていないところが多く、市でもう少し考えてほしい</li> <li>・ 使用して良いグラウンドが少ない</li> <li>・ スポーツセンターの使い方</li> </ul> <p>(輪ができる)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 差がある</li> <li>・ コミュニケーション不足</li> <li>・ 声かけ運動（働きかけ）うすい。どうカバー？</li> </ul> <p>(教育現場における体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先生の責任感のなさ</li> <li>・ 人生、友達のことを相談できないのでは</li> <li>・ いじめに対応できる先生はいる？</li> </ul>



## 【課題】

## (地域活動による教育)

- ・ 学校と若い大人との接点が薄い
- ・ なぜ公立×私立？
- ・ 大人・子ども関わり方
- ・ 社会人が進路相談。仕事を教える
- ・ 一緒に考える場づくり
- ・ 塾に行かなくても、教えられる人が地域にいるのでは？
- ・ モンスターペアレンツ
- ・ 全国的に同様であるが、子どもの教育はすべて学校に負荷、責任を先生に押し付けている親が多い。基本的な子どもの教育は家庭であることを忘れないでほしい

↓↑

親の教育

親の考え方

## (いじめ問題)

- ・ いじめる、とりまき、いじめられる。大人も気持ちをみんなで考える
- ・ あらゆる関わりを通して、家庭での話し合いをできるようにする

## (自然と教育)

- ・ 泉の森、教育の場となっていた
- ・ 自然多い(身近)→ふれる、遊ぶ、あらゆる「良さ」に
- ・ 緑が多く子どもたちの精神的な面で、良い面が多い
- ・ 自然環境を活かした教育
- ・ 野外活動
- ・ ナイフ、ナタの使い方
- ・ よもぎ団子、たんぼぼ
- ・ 竹とんぼ、ゴルフクラブ振り→算数の教育へ
- ・ 泉の森。イモを植えて、芋掘り。焼き芋

## (遊びが苦手な子)

- ・ どのように教えるのか？
- ・ ボランティア
- ・ 自治会を通じて、ボランティアを出す
- ・ しらかしの家。職員の方とのタイアップ
- ・ 放課後こども教室に参加する
- ・ 子どもの利用率向上！！
- ・ メニューを考えていく



## 大和市の主要課題

- ・ 人づくり
- ・ いじめ問題

## 主要課題への対応方針・解決

- ・ 挨拶、声かけ運動（独居老人への声かけ）
- ・ スポーツ教育
- ・ 教育現場の体制
- ・ 地域活動による教育

作業シート (写真)

討論テーマ **学校教育について**

グループ 7

×ン **スポーツ教育**

**弱み**

使用期限7ヶ月以内 **スポーツセンターの使い方**

教育現場における体制

無量の人生を送るの心配 **いじめ問題** 対応できる先生はいる?

あこがれの声かけ運動 **輪か** **コミュニケーション不足** どうかー?

声かけの運動 **1日1人1人** **あこがれの声かけ**

声かけの運動 **孤独な子ども** **思いと食** **あこがれの声かけ**

声かけの運動 **自然環境** **自然環境を活かした教育**

自然環境教育 **大人子ども** **一緒の場づくり**

自然環境教育 **社会人の道徳性** **責任と誠実**

自然環境教育 **地域活動** **地域活動による教育**

自然環境教育 **親子教育** **親子の居場所**

自然環境教育 **遊び方** **ホウチア** **自治会** **通じておた**

自然環境教育 **政経連** **親子の利用率** **向上!!**

自然環境教育 **いじめ問題** **いじめ問題**

自然環境教育 **いじめ問題** **いじめ問題**

大和市が抱える主要課題

× **人づくり**

× **いじめ問題**

×

主要課題への対応方針・解決策

挨拶声かけ運動(独居老人への声かけ)

スポーツ教育

教育現場における体制

地域活動による教育

## 討議内容の発表

## 【課題・解決策】

- ・ 結論としては、人づくりに問題があると考え。いじめの問題も個々に該当すると考えられる。
- ・ 解決策としては、挨拶・声かけ運動、スポーツ教育、教育現場における体制、地域活動による教育を挙げた。
- ・ いじめの問題は今、非常に大きな問題とされている。共通することとして、いじめをする人そのものを何とかしないといけないのではないかと、と共通の意見があがった。その人づくりのために、どのようにすればいいのか考えた場合、挨拶と声かけ運動について、通勤時間等、登校班や瓶の回収業者が四つ角に立っていて、そういった方々が挨拶をしているのが良いと感じた。ここでの挨拶や声かけ運動は大人からの一方的なものではなく、子どもたちからも挨拶をするということである。そういったことを行うと、どのようなことが起きるかという、声をかけあうことで、みんなの輪ができる。そうすると、知らない人でも声をかけられると、ホッとし大事にされているという気持ちになる。
- ・ スポーツ教育では、ボールを使って広場で遊ぶことが出来なくなっている。スポーツセンターを使用できないかということが、挙げられた。
- ・ 教育現場における体制として、いじめの問題が生じたときに先生の責任感がなく、人生や友人について相談が出来ないのではないかと感じた。いじめに対応できる先生もいるのか、そういった体制そのものが出来ているのか、ということで、教育現場の体制を整えることが大事であると感じた。
- ・ 地域活動による教育では、自然を用いてうまく教育に取り入れられないかと考えた。子どもだけでは難しいので、大人や「泉の森」など施設と連携をとりながら、自然を通じて万人が声をかけあうことで、親子の間でも家に帰って楽しかったと感想を言い合え、続くことによって悩みの相談が出来ていくようになればいいと考える。特にいじめの問題として、家庭での話し合いは必要と考える。学校に頼るだけではなく、全体を通じて万人が共通し解決していくべき事だと考える。



**(1)人の健康 : テーマ④学校教育について**

**8グループ★高校生**

**【強み】**

(学校)

- ・ 英語の先生がきてくれたり、でてくれる (外国の方)
- ・ いじめ解消率が大きく変わり、高くなった
- ・ 学童保育が各学校にある

(図書)

- ・ 本を読む人が増えた
- ・ 図書館の利用が多い
- ・ 幼稚園、小学生に向けて、絵本や小説を読んであげる

(地域)

- ・ 寄り道ができるところがいっぱいあって、次の日も頑張ろうって気持ちになれる
- ・ 泉の森や引地台のプールなど、子どもの遊べる大きな施設が多い
- ・ 子どもが遊べる公園がたくさんある
- ・ 小学校などのふれあい広場での、地域の皆さんとの交流が盛ん
- ・ 3:55/4:55 に、この時間ですよーという知らせの音が鳴る
- ・ 市内をよく警察が見回っていて、子どもが安心して遊んでいられる状態がつくられている

(通学)

- ・ 青いパトカーが市内を回っている
- ・ 父兄の皆さんが、防犯パトロールの自転車で回ったりする
- ・ 登校班があり、比較的 안전한道が選ばれている
- ・ 市内全域に放送がかけられる

**【弱み】**

(通学)

- ・ 交通量が多いので、小中学生の通学中の時、危ない
- ・ 歩道を通る自転車が、非常に危ない
- ・ 大通りが通学路に設定されていて、危ない
- ・ 細い道を朝は通行止めにすべき
- ・ 歩道が狭い

(いじめ)

- ・ いじめ問題について表面的な解消しかしていない
- ・ 資料のいじめ解消率が大人からの視点であって、子どもからの視点での解消率なのか不明
- ・ 全国と比べて、不登校生徒が多い

(治安)

- ・ 不良が多い
- ・ 夕方になると、駅前に怪しい人がいっぱい出てきて、帰り道が怖い



## 【課題】

<p>(通学)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通のルールが守られていない</li> <li>・ ちゃんとした交通ルールを学べるような機会がない</li> <li>・ 路駐が多いので、道幅が狭くなっている危険</li> <li>・ 自転車と歩行者が接触しそうな道が多い</li> <li>・ あやしいお店の客引きや、酔っぱらいと子どもの行動範囲がかぶっている</li> </ul> <p>(図書)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館の見た目がカッコイすぎで、勉強が嫌いな人は入りにくい</li> <li>・ もっと本をたくさんの人に読んでもらう</li> <li>・ 本の宣伝ができていない</li> </ul>	<p>(スクールライフ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽しい学校が作れていない</li> <li>・ 先生と生徒のコミュニケーション</li> <li>・ いじめの全体的な実態を把握できていない</li> <li>・ 学校は多数派の人だけが楽しめるような環境を作ってしまったので、少数派の人たち(変わった人?)は楽しめない</li> </ul> <p>(治安)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 治安が悪い</li> <li>・ 警察の方がもっと見回った方が・・・</li> </ul>
---	--



## 大和市の主要課題

1. 先生と生徒とのコミュニケーションがとれておらず、いじめの全体的な実態を把握できていない

2. ちゃんとした交通ルールを学べるような機会がないため、ルールが守られていない

3. 普段、本になじみのない人にも本を読んでもらいたいけど、図書館の見た目が入りづらい

## 主要課題への対応方針・解決策

- ・ いじめが本当に終わっているのか、教師が見るべき
  - ・ 不登校の人やいじめられている人が、気軽に相談できるような場所を増やす。いじめに関するアンケートを増やして行う。
  - ・ 学校での生活を楽しくする
  - ・ いじめた子といじめられた子と双方の親と担任との話し合い等
  - ・ みんなが楽しく学べる学校をつくる
- ・ 定期的に交通安全教室を実施する
  - ・ 登校班に親を付き添いとして、一緒に登校する
  - ・ 広くて車のおりが少ない道を、通学路に設定する方が良い
  - ・ 自転車専用レーンをつくる
  - ・ 自転車が歩道を走らないようにする
  - ・ 駐輪場を増やす
- ・ 小さい頃から児童教育で読書をすれば、成長していく中で、非行に走らず徐々に治安等の問題も解消していくのでは？
  - ・ 図書館に行きやすく。(数を増やす)(駅の近くに等)
  - ・ 図書館や図書室に新しく来た図書を、もっと広告すべき
  - ・ 図書館をもっとオシャレにする！！(例：スタバなど)

作業シート (写真)

討議テーマ **学校教育について**

グループ **8**

**【強み】**

- 図書**
  - 本をたくさん読んでいます。
  - 本をたくさん読んでいます。
  - 本をたくさん読んでいます。
- 通学**
  - 通学が楽しいです。
  - 通学が楽しいです。
  - 通学が楽しいです。
- いじめ**
  - いじめが少ないです。
  - いじめが少ないです。
  - いじめが少ないです。
- 治安**
  - 治安が良いです。
  - 治安が良いです。
  - 治安が良いです。

**【課題】**

- 通学**
  - 交通ルールを守っていない。
  - 交通ルールを守っていない。
  - 交通ルールを守っていない。
- 図書**
  - 図書館の良さがわからない。
  - 図書館の良さがわからない。
  - 図書館の良さがわからない。
- スマホライフ**
  - スマホの使い方がわからない。
  - スマホの使い方がわからない。
  - スマホの使い方がわからない。
- 治安**
  - 治安が悪い。
  - 治安が悪い。
  - 治安が悪い。

**大和市が抱える主要課題**

1. 生徒と生徒とのコミュニケーションがとれていない。心の全体的な状態を把握できていない。
2. ちびと「交通ルールを学ぶような機会がないため、ルールが守られていない。
3. 普段本になじみのない人にも本を読んでもらうために、図書館の見え方が入りづらい。

**主要課題への対応方針・解決策**

- 1. コミュニケーションの促進
- 2. 交通安全教育の充実
- 3. 図書館の魅力を伝える

討議内容の発表
---------

## 【強み】

- ・ 大和市の強みとして、海外の人が多く住んでいるので、学校に外国人が教えに来てくれるといった意見があがった。また、いじめの解消率が高く、学童保育が各学区に設置されている。図書館の数が増え、本を読む人が増えた。泉の森など子どもが遊べる施設が多くあると感じる。
- ・ 大和市の各設置場所からスピーカーでお知らせが鳴ることも良いことだと感じる。また帰宅時には青パトカーが市内を回っているなど、そういったことが強みと考える。

## 【弱み】

- ・ 弱みは、小学生が歩く道なのに、交通量が多い。歩道を自転車が走っており、歩道が狭まる。またいじめの問題も本当には解消が出来ていない。全国と比べて不登校が多く、不良も多い。夕方になると不審者が出る。

## 【課題・解決策】

- ・ 課題については、交通のルールが守られていない、ちゃんとした交通ルールを学べるような機会がない。路駐が多く道幅が狭くなっていて危ない。自転車と歩行者が接触しそうな道が多い。あやしい店の客引きや、酔っぱらいと子どもの行動範囲がかぶっている。図書館の見た目がカッコワザすぎて、勉強が嫌いな人は入りにくい。もっと本をたくさんの人に読んでもらう。本の宣伝ができていない。楽しい学校が作れていない。先生と生徒のコミュニケーション。いじめの全体的な実態を把握できていない。学校は多数派の人だけが楽しめるような環境を作ってしまったので、少数派の人たちは楽しめない。治安が悪い。警察がもっと見回った方がいいといった意見が出た。
- ・ 大和市が抱える主要課題として、先生と生徒とのコミュニケーションが取れておらず、いじめの全体的な実態を把握できていない。いじめが本当に終わっているのか、教師が見るべき。
- ・ 不登校の人やいじめられている人が、気軽に相談できるような場所を増やす。いじめに関してのアンケートを増やす。学校での生活を楽しくする。いじめた子といじめられた子と、双方の親と担任との話し合い等。みんなが楽しく学べる学校をつくる。といったことが挙げられた。
- ・ ちゃんとした交通ルールを学べるような機会がないため、ルールが守られていない。定期的な交通安全教室を実施する。といったことが挙げられた。
- ・ 普段、本になじみのない人にも本を読んでもらいたいけど、図書館の見た目が入りづらい。小さい頃から児童教育で読書をすれば、成長していく中で、非行に走らず徐々に治安等の問題も解消していくのでは？といった考えから、図書館に行きやすくする。図書館や図書室に新しく来た図書を、もっと広告すべき。
- ・ 図書館をもっとおしゃれにする！！（例：スタバなど）といった意見が挙げられた。



**[講師講評]**

..... **国士舘大学政経学部教授 平石 正美 氏**

- ・ 本日、集まった方は無作為で選ばれ、今朝までは知らなかった人同士がこれだけの話をした。これはすごいことだし、発表者の話を真剣に聞いて、様々な感想を持つこの空間が非常に重要である。
- ・ 高校生の皆さん、今回は、よそいきの言葉で語っていたようだが、今後は自分たちの言葉で語った方が良い。また分からないことは、はっきりと言った方が良い。若さというエネルギーの素晴らしさはそういったところにある。分からないことは恥じず、思っていることを口に出すということが、重要である。
- ・ 大きく寄せられた意見として、行政のサービスが分からない、といったことがあった。福祉のサービスが行われているが、どうやっているのかわからない。情報を伝えていくツール、世代別、分野別、ニーズ別に合わせてきちんと伝えられる仕組みが、まだ不十分である。これは多くのところがそうである。日本の役所は、やっているというポーズはつくるが、現実は何をやって、どこまで出来るのか、自分たちでニーズを掘り起こすことはなかなかうまくできない。
- ・ 福祉は、介護や病気などさまざまな問題が出てくるので、自治体ごとに福祉の総合相談窓口を設置し、ケアマネージャーなど含め、手続きなどをスムーズに行っている。これは、福祉と行政をうまくつなぎ合わせる、インターフェイスとして非常に重要である。
- ・ オーストラリアは非常に広報活動がうまい。パンフレットのつくりかたが芸術的であるが、サービスはほとんどやっていない。日本は他の国の自治体に比べれば、サービスは充実しているが、どこで何が出来るのかという PR の工夫が非常に少ない。ここが非常に大きな問題である。自分たちで出来ないのであれば、出来る仕組みをつくってはどうか。



- ・ アメリカではコミュニティネットワークという考え方がある。市の全体の問題は情報であり、なにか問題が発生した場合、検索するとすべて出てくる。ペットがいなくなったとき、病気の時などどうするか。これをつくっているのは、地域の NPO である。役所の情報は地域の情報網の一つでしかない。仕事を探したり、隙間時間に仕事をしたいといったことも、情報化することで様々な問題解決に繋がる。こういった仕組みを NPO がつくる。役所の仕事を全体で行っていく。
- ・ 例えば学校教育のなかで出来ることは、子どもたちと接していく中で、非常に少ない。親と接する時間の方が基本的長い。親、祖父母、友人、近隣の人々、そういった人達と繋がっているから、全体で育てていくという仕組みづくりをどうしていくのかが課題である。
- ・ 皆さんが知っていることと、役所が行っていることの差がありすぎる。この認知を埋めていくことも皆さん方のアイデアである。皆さん方が持っている情報を役所で持っている制度であったり、解釈、予算等と接合し、内容が変わってくる。つまり、プロセスを変えて、クオリティを変えていく仕事がこの話となる。これが出発点で、これからそういう問題をどう解決していくのか、ということにつながっていく。まさにこれはお互いが協力しあって、次の仕組み、問題を解決していく仕組みをつくっていただければと考える。